

10/3・10/4 令和8年度 全国会長・事務局長連絡会および研修会記録

【研修① 高校生のネット利用に関する講演について】

3つのキーワードが示されました。①自分で考えて判断する ②倫理観を身に付ける ③健全で充実した日常生活を送る PTA としては、「スマホや SNS、AI をどう使う人に育てるか」を考えることが重要で、単なる「危険性の注意喚起」だけでなく、子どもが自分で考え、判断できる力を育てるという視点が大切。

【研修② 進学指導に関する講演について】

5つのポイント ①大学入試は昔と大きく変わっている ②早い段階から進路を考える ③子ども自身が進路を考えることが重要 ④大学ごとの最新情報を確認する ⑤保護者も情報をアップデートする

【その他① 全国大会大分大会概要報告について】

大会は 5,240 名の参加、県外参加者は 4,745 名、リモート参加は 219 校 大会運営に協力したスタッフは 344 名 滋賀県からは、参加者 57 名、リモート 4 校
大会で得た学び・出会いを各地域の PTA 活動に生かすことが期待されている

【その他② 東京大会案内について】

大会テーマ：「つながり合う力」サブテーマ：「みんなで創ろう、PTA2.0」

単なる研修・参加の場とするのではなく、全国の参加者が交流しながら、次世代の PTA のあり方を一緒に考える場としたいとの考えが示され、全国の参加者と交流を重視した大会運営を目指すとのこと。詳しくはホームページで

【その他③ 諸連絡について】

- ①高校 1 年生は自転車事故が多いため、入学後の安全指導が重要
- ②自転車の「ながら運転」や一時停止違反等に注意
- ③ヘルメットは「持っている」だけでなく、正しく着用する
- ④特殊詐欺被害が増加しており、録音機能や警察庁推奨アプリを活用する
- ⑤不審な電話には出ない、録音機能や警察庁推奨アプリを活用する
- ⑥高校生にも特殊詐欺・犯罪被害防止について周知する

【事務局長連絡会①について】

・連合会の役割・存在意義

- ①単位 PTA だけではできないことを実現する組織
- ②「数の力」「スケールメリット」の重要性

・PTA 加入に向けた取組

- ①「加入してください」だけではなく、意義・メリットを説明する
- ②入学時の説明が重要
- ③説明資料・動画・ハンドブック等の活用

・PTA 活動そのものの見直し

【会長連絡会②について】

・研修委員会作成のアンケートの結果をもとに、研究協議・情報交換

「少子化・会員減少」「会費・財政の再設計」「未加入・加入率低下」「役員のなり手不足」「情報発信・見える化」「全国大会・研修会」「行政要望・政策提言」「存在意義・意識改革」「学校との協働・働き方改革」の 9 つのテーマで、活発な意見交換が行われた。

【その他④ 賠償責任補償制度について】

制度の目的の説明の後、**次年度から自己負担額(免責金額)を「0円」に改定する**との説明がなされた。
これまで1事故につき5,000円の自己負担があったが、加入者や事務局からの意見が反映された。